



2市町およびパートナー企業8社の代表者と  
ともに協定書を掲げる

## 世界を舞台に 事業を展開する 企業とともに



「浪江町初」オンラインでつなぎ、協定書を  
披露する町長と住友商事株式会社 森執行役員(左)

# 浪江で「新規プロジェクト、続々始動

## 日産自動車株式会社等と連携協定締結

2月2日、浪江町は、双葉町・南相馬市および日産自動車株式会社をはじめとするパートナー企業8社（フォーアールエナジー株式会社・福島日産自動車株式会社・日産プリンス福島販売株式会社・イオン東北株式会社・日本郵便株式会社東北支社・株式会社長大・株式会社ゼンリン）と「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」を締結しました。

当日は、「新型コロナウイルス感染症」対策のため、「道の駅なみえ」と各自治体および各社の会場を「オンライン、でつなぎ、画面を通して代表者が一堂に会する形式で、調印式を実施しました。

町では同月、協定に基づき、喫緊の課題の一つである、町に暮らす人や町を訪れる人が利用しやすい移動手段の確保、さらには、将来の「自動運転社会」の到来を見据え、情報通信技術などを活用した新たな移動サービスの構築を図るため、町内の市街地などを舞台に、実証実験「なみえスマートモビリティチャレンジ」（詳しくは10・11ページ）を実施しました。

今後も、浪江町を中心に広域的な連携の下、各社が保有する先進技術やノウハウを結集し、「持続可能なまちづくり」を推進していきます。



日産自動車株式会社 内田社長(左)の協定にかける  
「意気込み、に耳を傾ける町長」

## 住友商事株式会社と連携協定締結

1月25日、浪江町と住友商事株式会社は、「水素の利活用及びまちづくりに関する連携協定」を締結しました。当日は、「新型コロナウイルス感染症」対策のため、浪江町役場本庁舎と東京都内の会場を「オンライン、でつなぎ、連携協定締結式を実施しました。

同社は町と共同で、乗用車やバス、トラックに水素エネルギーを供給する「マルチ水素ステーション」の開設に向けた検討を始めるなど、協定に基づき、水素を利活用した事業を多方面にわたり進めます。

また同社は、東京都内で、ビジネスから文化・芸術に至るまで、あらゆる分野の垣根を越えた多様な人たちの「出会いの場、の提供など、人材の育成、交流を促進する事業を企画・運営しており、町では、これらの事業で培ったノウハウを活用し、「交流人口・関係人口・定住人口」の拡大に向けた取組も推進します。

昨年、世界最大級の水素製造拠点「福島水素エネルギー研究フィールド」が町内に開所しており、本協定の締結により、水素をはじめとする再生可能エネルギーの「地産地消」の推進、さらには、移住・定住の促進を復興の柱の一つとするまちづくりに、より一層弾みがつくことが期待されます。



「水素を活用した事業展開や人材育成・交流など、総合商社が  
保有するノウハウを生かし、移住・定住の促進を」と町長

## 「なみえタマネギ「浜の輝」、の種が宇宙へ

世界に向けて、東北が復興に向けて歩んでいる姿と、支援への感謝の気持ちを伝えるための「東北復興宇宙ミッション」（一般財団法人ワンアース主催）の一環として、浪江町産のタマネギ「浜の輝」の種がロケットとともに打ち上げられることに伴い、1月27日、浪江町役場において種の引渡しが行われました。

種は、5月頃、NASA（アメリカ航空宇宙局）から国際宇宙ステーションに打ち上げられ、7月頃に地球に帰ってくる予定です。また、コスモスの種も一緒に打ち上げられることから、近い将来、町が「宇宙コスモス」で彩られる日が期待されます。



一般財団法人ワンアース 長谷川代表理事（左から3人目）に種を託す町長（右から3人目）